

HIYOSHI CAMPUS CALENDAR

MAY 2007

2007.5.1. 発行 第106号

慶應義塾大学(日吉) HIYOSHI CAMPUS CALENDAR 編集部(日吉キャンパス事務センター運営サービス内) 編集・発行

東京六大学野球「慶早戦」

今日において「野球」は子供から大人までに幅広く親しまれる日本の国民的スポーツのひとつにまで成長し、プロ野球や春夏の高校野球は私たち日本人にとって、なくてはならない風物詩、文化の一部となっています。この「野球」の起源が慶早戦を代表とする六大学野球にあることは、塾生の皆さんにはあまり知られていないのではないのでしょうか。

慶早戦の輝く歴史と伝統は、日本の野球史そのものと言っても過言ではありません。明治初期、外国人教師やアメリカ帰りの一部のエリートによって伝えられた最先端スポーツ＝野球をいち早く取り入れ、新しいスポーツとして親しんだのは旧制一高(現・東京大学)の学生たちでした。やがて、台頭してきた私学の両雄、慶早両大学が明治 37(1904)年、時を同じくして一高から覇権を奪い、ここに一部のエリートスポーツであった「野球」の民主的なスポーツへのプレーボールが告げられたのです。

慶早戦の歴史は、さまざまなエピソードに彩られています。その中でも、昭和 35 年秋の慶早戦は球史に残る激戦となりました。リーグ戦最終戦となる慶早戦、慶應が勝ち点を奪えば優勝、早稲田が連勝すれば優勝、2勝1敗なら優勝決定戦となる重要な試合となりました。早稲田の2勝1敗となり、優勝決定戦となった第4戦、第5戦は両者譲らず引き分け、ついに6連戦の末、早稲田の優勝となったのです。慶早戦はアマチュア野球界の最高峰として、ケンブリッジ大 VS オクスフォード大のレガッタ、エール大 VS ハーバード大のフットボールとともに「世界三大カレッジスポーツ」の一つに数えられています。

現在、塾野球部は春のリーグ戦を精一杯戦っています。伝統の一戦、慶早戦に勝つためには、皆さんの声援が必要不可欠です。神宮球場に足を運び、われらが母校を応援しましょう。

目書キャンパス情報

慶應義塾大学新入生歓迎行事

主催：慶應義塾大学教養研究センター日吉行事企画委員会(HAPP)
email: hy-happ@adst.keio.ac.jp

林望氏講演会「英語で暮らしてみました」

日時
2007年5月10日(木) 16:30~18:00
会場
来往舎シンポジウムスペース

「小栗康平監督最新作の上映と対談」

映画と時代を見つめ続ける、日本を代表する映画監督が、
若い世代へ映画と今を語る

日時
2007年6月1日(金)
16:30~18:30 最新作「埋もれ木」上映会
18:30~19:30 対談「映画を見る眼と今を見る眼」
小栗康平監督 / 慶應義塾大学商学部 橋本順一教授
会場
来往舎シンポジウムスペース

東京六大学野球日程

【2007年 春季リーグ戦】

5月5日(土) 慶大 - 東大
5月6日(日) 東大 - 慶大
5月19日(土) 慶大 - 法大
5月20日(日) 法大 - 慶大
6月2日(土) 慶大 - 早大
6月3日(日) 早大 - 慶大

<野球部員のコメント>

練習では厳しい雰囲気の中、日吉=神宮を意識して一球一球を大事にプレーしています。相場監督の下、「打ち勝つ野球」というスローガンを掲げ、六大学リーグ優勝、そして大学日本一を目指しますので、応援の程、よろしくお願い申し上げます。



日吉メディアセンター

【新規導入データベースのお知らせ】

JapanKnowledge

日本語辞書・事典のポータルサイト。英和・和英辞典も収録されています。
『イミダス』『現代用語の基礎知識』も利用できます。

理科年表プレミアム

科学データブックの定番、国立天文台編『理科年表』のWeb版です。
大正14年の創刊から最新年度まで約80年間のデータを掲載しており、
すべての表データをcsv形式でダウンロードできます。

聞蔵Ⅱビジュアル

朝日新聞社の記事検索サービス「聞蔵」に、戦後からの新聞の紙面イメージを
追加したオンラインデータベース。

『AERA(アエラ)』と『週刊朝日』のニュース面も検索できます。

4月中旬に「聞蔵」から「聞蔵Ⅱビジュアル」へサービスが切り替わる予定です。

この他にも、追加・変更となったデータベースがあります。

詳しくは日吉メディアセンターWebページ (<http://www.hc.lib.keio.ac.jp/>)
のNews&Informationをご覧ください。



アート・マネジメント講座2007 第1回公開講座

とき

オーボエとの「時間」

慶應義塾大学アート・センター

アーティストの思いと聴衆の願いとを結ぶアート・マネジメントについて、今年3月までオーボエ奏者として活躍してきた宮本文昭氏が解説します。

講師：宮本文昭（東京音楽大学教授）
ドイツ留学後ケルン放送交響楽団首席オーボエ奏者を歴任し、2000年より本拠地を日本に移し、水戸室内管弦楽団の首席オーボエ奏者等として活動。

モデレーター：金子哲理（慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構教授）
Sony Music Foundation 企画制作部門責任者を経て現職

開催日時：2007年6月2日（土）13:00～15:00（開場 12:30）

開催場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 西校舎 517 番教室

参加無料・事前申込み不要



問い合わせ：art-c-minato2007@adst.keio.ac.jp



H A P P 公募企画募集要綱

教養研究センター日吉行事企画委員会（H A P P）では、塾大学生または教職員が企画・実行するイベントに対して、補助（1企画 25万円まで）を企画主催者として行います。補助を受ける企画は、キャンパス内だけでなく、キャンパス外コミュニティーとの交流が視野に入っていて、その内容には大学の特性が活かされているべきであると考えます。

応募資格者：塾大学生および教職員

補助金額：1件につき 25万円まで

募集件数：5件程度

応募期間：2007年4月16日（月）～2007年5月31日（木）

申し込み：学生総合センター窓口または日吉キャンパス事務センター運営サービス総務担当
申し込み書はH A P Pのホームページからダウンロードしてください
(<http://www.hc.keio.ac.jp/happ/>)

最終結果発表：2007年7月13日（金）

問い合わせ：商学部 森吉直子（来往舎研究室） 内線：33211

採択された企画は、2007年9月末から2007年12月末までの間に、日吉キャンパス内の施設（塾生会館を除く）を利用して実行することとなります。

6月初旬に、5月31日（木）までに申し込みがあった企画を対象に説明会を開催します。その後正式な企画書を提出していただき、これが最終審査の対象となります。

主催：慶應義塾大学 国際センター

慶應義塾大学 留学フェア 2007

<http://www.ic.keio.ac.jp>

2007年6月5日(火)、国際センター主催の慶應義塾大学留学フェアが開催されます。留学フェアは、より多くの塾生に留学についての情報を提供することで、留学を身近に感じ、留学の準備をできるだけ早い時期から始めてもらうことを目的としています。昨年の留学フェアには、塾生、教職員、一貫校生など約1000名の来場があり、大変にぎわいました。交換留学をはじめとする「留学」に興味のある方は、是非お立ち寄り下さい。

日時：2007年6月5日(火) 12:00～18:30
会場：日吉キャンパス 来往舎

イベント内容

- 各国留学説明会、塾派遣交換留学説明会
- 個別相談ブース(国・エリア別)
- 留学経験者・留学生談話室
- 留学資料・語学テスト資料コーナー

参加機関(予定)

日米教育委員会、CIEE(国際教育交換協議会)、ブリティッシュ・カウンシル、オーストラリア政府国際教育機構・オーストラリア大使館、エデュ・フランス日本支局、ドイツ学術交流会(DAAD)、イタリア文化会館、カナダ大使館、日中文化交流センター、東京韓国総合教育院、ニュージーランド大使館、台北駐日経済文化代表處文化組、アイルランド大使館、スイス大使館 他